



■速やかに避難
市は、災害が発生した場合や発生の恐れが高まった場合に、えふえむ花巻のラジオ放送や緊急速報メール、広報車のほか、市ホーム

**災害発生時の
的確な行動と心構え**

この情報を見たり、聞いたたりした場合は、速やかに指定緊急避難場所などへの避難(または避難の準備)を始めてください。
※道路の冠水などで移動に危険が伴う場合は、近隣の頑丈な建物

災害から 命を守るために

9月1日は
防災の日



突然発生する自然災害から命を守るためには、速やかに避難することが重要です。いざというとき、的確な避難行動が取れるよう、日ごろから災害に備えておきましょう。

**災害に備え
今からやるべきこと**

■避難する場所を事前に確認
市は、災害の危険から市民の皆さんの命を守るため、お住いの地域に応じた「指定緊急避難場所」と「指定避難所」を指定しています。
▽指定緊急避難場所：災害が発生した場合や、発生する恐れがあるとき、その危険から逃れるための避難場所
▽指定避難所：自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送るための避難所。災害発生当初から開設されるものではなく、避難の長期化が見込まれる場合に開設
突然の災害に備えて、自分がどこに避難すればいいか、事前に確認しておきましょう。
※指定緊急避難場所と指定避難所は、広報はなまき平成27年8月1日号に掲載したほか、市ホームページで公開しています

■避難経路を事前に確認
市は、大雨による河川の氾濫や土砂災害の際に、皆さんが素早く安全に避難できるように、「花巻市



▲花巻市ハザードマップ

非常時に備えてチェック!

- ✓ 避難所の確認
- ✓ 避難経路の確認
- ✓ 非常持ち出し品・備蓄品の用意



非常持ち出し品の例

- ▶貴重品 現金、印鑑、保険証、預金通帳
- ▶衣類 下着、靴下、セーター、紙おむつ
- ▶洗面用具 せっけん、歯磨き用品
- ▶水・食料品 飲料水、非常食、粉ミルク
- ▶道具類 懐中電灯、ラジオ、乾電池、軍手、マッチ・ライター、栓抜き・缶切り、ティッシュ、カイロ、筆記用具、雨具、救急セット

備蓄品の例

- 水・食料(3日分)、毛布

ハザードマップ」を作成し、市ホームページで公開しています。
このハザードマップには、過去の洪水範囲、土砂災害の恐れがある区域などに加え、活断層などの情報を詳しく掲載しています。これらの情報を確認し、自宅や職場、学校などの周囲にどのような危険箇所があり、どのような経路で避難すれば安全か、あらかじめ把握しておくことが大切です。
※花巻市ハザードマップは、10月中旬に全世帯に配布予定です

■非常持ち出し品・備蓄品を準備
避難するときに、家から持ち出した方がよい生活用具などを非常

や自宅の2階以上で山・崖側から離れた部屋などに避難してください

■避難情報の種類に応じた行動

市が発令する避難情報は、その緊急度に応じて、避難準備情報、避難勧告、避難指示の3種類があります。避難指示が最も緊急性の高い避難情報です。

避難情報を発令した場合、市の職員を指定緊急避難場所に配置し、避難者の受け入れや食料、毛布などの準備を行います。

▽避難準備情報：災害発生の恐れが高まったときに発令。気象情報に注意し、避難の準備を始めてください。高齢者や障がい者など避難に時間がかかる人は、避難を開始してください

▽避難勧告・避難指示：人的被害が発生する可能性が高まったと判断された場合に発令。指定緊急避難場所などに直ちに避難してください

■状況に応じた行動を

災害の種類によって、適切な避難行動は異なります。例えば、河川洪水災害では、自宅の2階以上への避難で危険から逃れられる場合

○災害の種類による避難場所の選択

| | 外出の危険度 | | |
|--------|--|----------------------|----------------|
| | 低 | 中 | 高 |
| 土砂災害 | 指定緊急避難場所へ避難 | 近隣の頑丈な建物や危険区域外の建物へ避難 | 2階の崖から離れた部屋へ避難 |
| 河川洪水災害 | ハザードマップを基に避難行動を選択 指定緊急避難場所へ避難 浸水想定区域外の建物へ避難 2階などの上階の部屋へ避難 | | 2階などの上階の部屋へ避難 |

がありますが、土砂災害の場合は、自宅を離れ、指定緊急避難場所などへの避難が基本となります。
また、避難に関する情報が発令されていない場合、異変や身の危険を感じたら、自ら避難を始めるなど、状況に応じた的確な対応が必要となります。
災害が発生しても、被害を最小限にとどめるためには、災害に対する知識と準備が大切です。今できることを始めましょう。